

日本共産党都議会議員

# 和泉なおみの さわやかレポート

NO.18  
2015.9.

発行：和泉なおみ事務所 TEL5671-0850  
葛飾区東立石 3-25-8 FAX 5671-0851

# 私たちの上を飛び回る?!



## オスプレイ

# 横田基地 現地調査



基地周辺を見てまわる和泉なおみ都議

横田基地とはどんな基地なのか？オスプレイが配備されるとどんな危険があるのか？ 八月二三日、和泉なおみ事務所主催で「横田基地フィールドワーク」が行われました。中型バス二台に分乗し、五三名の方々が参加しました。また、東

## 危険と隣り合わせの基地周辺住民

横田基地に着いて、驚いたの

はその広さです。南側の端、サウスゲートに立っても基地の半分も見えません。

広さは、東京デイズニードの約十四個分。水元公園の七・六倍です。基地内には、「思いやり予算」で作ったピザ店、テイクアウト料理店、ショッピング

モールやボウリング場、野球場、カルチャースクールにゴルフ場、病院、幼稚園、映画館、温水プー

ル…。騒音公害訴訟や飛行機の墜落

事故、燃料漏れ事故、専用貨物列車の衝突事故のほか、米兵家族が道路にロープを張って近隣住民にけがを負わせるなどの犯罪事件も起こっています。

地上だけでなく、空の上までやりたい放題。関東上空はほぼすっぽりと横田基地の管制空域となっていて、民間機は入れません。



広大な基地を見守る参加者

## 沖縄のMV22よりも危険なCV22

この横田基地に配備されようとしているオスプレイCV22。沖縄に配備されたものとは大きな違いがあります。敵地に侵入する特殊部隊の輸送がCV22の任務です。そのため低空飛行や夜間飛行の訓練が必要です。基地周辺には民家、学校、病院などが密集していま

飛び回ることになるかもしれないのです。このフィールドワークを通じて、いっそう戦争法案の危険が現実味をおびたものとなり、参加者からは「タイムリーの企画」「とても勉強になった」などの感想が聞かれました。

事故があれば甚大な被害が出ます。自衛隊も来年度までに十七機の配備を計画しており、葛飾に住む私たちの頭上を、この危険なオスプレイが



高瀬葉一さんの感想(新小岩)

## 「戦争法」は絶対にだめ!

現情勢にぴったりの企画を、ありがとうございました。私は、東京の観光名所など東京住人として、少しは見えてきました。しかし観光名所でない東京は初めてでした。東京のど真ん中に米軍基地があり、まさに日米安保条約の具体的な姿が見えました。

米軍の住居や施設を見て、日本の「思いやり予算」がいかに手厚く米軍を扱っているか示され、日本国民として屈辱感を覚えました。

改めて、危険で騒音の大きなCV22オスプレイを配備するというアメリカのやり方は許せません。同時に、そのアメリカと一緒に戦争をする「戦争法」阻止のため断固として闘っていく決意を固めました。



# 和泉なおみ都議が

## 改悪「介護保険」の実態調査をしています

### ご協力をおねがいたします

和泉なおみ都議は、9月中旬から始まる第3回都議会定例会と決算委員会に向けて、介護保険の実態調査を開始しました。当面、23区へのアンケートや、事業所訪問などに取り組んでいます。より正確な実態が反映できるよう介護でお困りなことなど、情報をお寄せください。

#### 制度の根幹に

#### かかわる改悪

要支援1・2の方たちは、介護保険給付は受けられなくなり、区が行う総合事業に移行します。要介護3以上でなければ、原則として特養ホームには入れません。また、八月一日から、一定の所得以上の方は介護保険利用料が二割になり、ショートステイや特養ホームの食事代、居住費が軽減される補足給付にも、所得制限が適用されます。経済的理由から介護保険を受けられない「介護難民」の急増が危惧されます。事業所も、介護報酬が

### 日本共産党都議会議員・和泉なおみの 生活・年金・法律相談

10月8日(水) 午後2時より

於・和泉なおみ事務所

事前にお電話ください

毎月第二水曜日に、東部法律事務所のご協力いただきまして、「生活・年金・法律相談会」を開催いたします。



### よい介護をするための声を都政に

葛飾区では、六十五歳以上の第一号被保険者がおよそ十一万人。そのうち十五%の方が利用料二割になるとのことです。

けられるようになるのか？あるいは受けられなくなるのか？事業所や利用者から不安の声が上がっています。



また、要支援1、2で介護保険から総合事業に移行する人が約四、五〇〇人です。利用料や補足給付の負担がどのくらい上がるのか？来年度から始まる総合事業でどんなサービスが受

高年齢者が安心して暮らすためには、都政が責任を果たすことが重要です。住民の生の声を反映していきましよう。積極的なご意見をお待ちしています。

### 終戦記念日、若い夫婦の会話、墓参り

#### 和泉なおみ

今年の終戦記念日は仙台で過ごしました。妹の家に滞在中、妹の長女、長男夫婦とともに終戦記念番組を見ていたときの

なつて、いのちの重みや愛しさを、いっそう強く感じているからかもしれない。彼らとお墓参りをしながら、仙台空襲

をかけた長男が、「少し前まで、こういう番組を見ようとは思わなかった。でも、こういうことをちゃんと考えて平和の大切さを語り継いでいかなきゃいけないって、最近思うようになった」と。

を生き延びた私のおばあちゃんや父の経験を伝えつつ、戦争の悲惨さ、憲法について語り合いました。

東日本大震災の経験から家族や人のつながりの大切さを知り、一歳の娘をもつ親と

今までなんとなく頼りなかった若い夫婦の言葉に感じた力強さ、人としての成長、未来への希望。「よっしゃ！また頑張るぞ」と力をもらって、仙台を後にしました。



9月2日(水)、「とめよう戦争法案！かつしか集会」が開かれ550人の方々が参加し、和泉なおみ都議も紹介されました。